兵庫県民間病院協会会報

2024

8

令和６年　通巻642号

目　次

巻頭言 …… (一社)兵庫県民間病院協会　監事　稲　見　直　邦 …… 1

随　筆

パリ五輪の開会式 …… (一社)兵庫県民間病院協会　理事　森　村　安　史 …… 2

ワーク・ライフ・インテグレーション
(医社)まほし会　真星病院　総合支援部 部長　杉　原　麻理子 …… 3

看護の想い …… (社医)順心会　順心病院　看護部長　大　島　佐代子 …… 4

理事会報告 …… 5

令和６年度　第１回近畿病院団体連合会事務長会 …… 8

病院かわら版 …… (医社)博愛恵秀会　神戸博愛病院 …… 9

エリア情報（神戸・東阪神・西阪神・西播） …… 10

協会だより …… 16

お知らせ …… 17

(一社)兵庫県全日本病院協会だより …… 18

兵庫県病院協同組合だより …… 22

兵庫県病院企業年金基金だより …… 23

（題字は齋藤兵庫県知事）

一般社団法人　兵庫県民間病院協会

巻頭言

After COVID-19

(一社)兵庫県民間病院協会監事
(医社)顕修会　顕修会すずらん病院
理事長・院長　**稲見　直邦**

私は幼い頃からの阪神タイガースファンでした。阪神タイガースが日本一になった1985年、当時高校生だった私はとても興奮したのを覚えています。医師になってからも長い間、年間シートを買う程の熱狂的な阪神タイガースファンでありました。

COVID-19が流行しだしてからは、年間シートを持っていても甲子園球場に入場できなくなってしまい、ネットで試合結果を見る程度となってしまいました。

そんな中、知人からの誘いで初めてサッカー観戦に行く事になりました。それがノエビアスタジアムでのVISSEL神戸の試合だったのですが、試合前に全員で歌う「神戸賛歌」の歌詞にとても感銘を受け、そこからVISSEL神戸に興味を持ち始めました。それからは甲子園球場ではなく、ノエビアスタジアムに通うようになり、また他都府県で行われるアウェーの試合へも足を運び応援しています。

VISSEL神戸は阪神・淡路大震災が発生した1995年に設立されました。試合前には、震災で亡くなった方へ向けたセレモニーが行われています。全員で歌う神戸賛歌には震災の事が歌詞に入っており、心を打たれるとともに、二つの震災で亡くなった神戸の友人や仙台の先輩の事を思い出して、最初はとても歌えませんでした。

COVID-19期間中にはVISSEL神戸からの医療従事者応援活動「こうべ医療者応援ファンド」が設立され、感染拡大防止のために活動を自粛していた選手たちから「神戸の街の人を助けたい」「神戸の街の人を元気づけたい」という声が上がり、「こうべ医療者応援ファンド」へ選手一同から寄付と、大変な状況下でも人を助ける使命を背負って戦っていただいている方々に少しでも届けばと、応援メッセージの動画が配信されていました。医療従事者として、そして神戸に住む人間としてVISSEL神戸を応援しないわけにはいかなくなったという事です。嬉しいことに昨年はJ1リーグ優勝を果たしてくれました。

まだまだサッカーの事は詳しくありませんが、レプリカユニフォームを着用して精一杯応援し、90分間の試合が終わるとそのまま街へ繰り出し、サッカーについて語り合いながらお酒を飲むこともまた一つの楽しみであります。

医療業界はまだまだ大変ですが、このように応援して下さるチームがいます。

皆様も地元のチームであるVISSEL神戸をぜひ一緒に応援しませんか。

パリ五輪の開会式

(一社)兵庫県民間病院協会理事
(医)樹光会 大村病院
理事長 森村　安史

パリ・オリンピック開会式の映像が流れてきた。ダイジェストしか見ていないのであるが、「なにこれ！　これが開会式？」という驚愕で目が点になった。

セーヌ川を船に乗って選手が入場する。ギリシャに続いて入場してきたのは国籍不明な移民たちであった。ここまでの斬新さは序の口であった。真っ赤に血塗られた首を胸に抱く女性。真っ青にペイントした性別もよくわからない人々。キリストを嘲るような「最後の晩餐」のオマージュ。色彩の異様さと出演している人々から受ける不快感から目をそらしたくなるような映像が世界中に放映されているのだ。この演出がフランスらしいと言われればそうなのかもしれないが、古い頭の私には面白さや、楽しさ、これからオリンピックという祭典が始まるのだというわくわく感も伝わっては来なかった。

グローバル化した世界の中でダイバーシティ＆インクルージョンな社会とは、この映像によって示されたような世界観のことをいうのであろうか。多様な価値観をお互いが認め合うというのは受取手に不快感を与えても構わない社会なのだろうか。私はもともと精神障害者というネガティブなイメージで社会から偏見を受けていた人々の医療を受け持ってきた。いまでは精神障害者に対する差別はずいぶん緩やかになってきた。それでもなお地域によっては特殊な目で見られることがある。これらの人々も含めてインクルーシブな社会が実現されることに不満はない。障害者が社会の片隅で隠れて生きていくようなことがあってはならない。そのような思想のもとでこれまで生きてきたわけであるから、差別のない社会の実現という言葉を拒否する者では無い。ましてや性別違和は精神障害としてDSMの診断基準に記載されている疾患なのである。それでもこのオリンピック開会式で見せられた世界観には嫌悪しか感じなかったのである。

マイノリティと言われる人々の主張を認めすぎることから、社会を構成する多数者に生きにくさを強いることになってはいないか。多様性を認めることに拒否はない。さまざまな皮膚の色を持ち、多彩な文化の人々が地域の中で共に生活することを拒否するものでは無い。しかし我が国は日本人の歴史を持って、日本人が作り上げた文化の中で、私たちの価値観で生活しているのである。多文化の人々が我々と同じ社会で生活するときには、彼らにも私たちが大切にしてきた価値観を共有してもらう必要があるだろう。多数者が生きにくい世界が生まれると、少数者への敵意が増す。それが分断につながっていく。過剰に少数意見を聞きすぎることが、逆に少数者への否定感情となってしまうのである。社会を分断しているのは、多様性を過剰に受け入れることを強要する人々の側にあるのではないだろうか。パリ五輪の開会式を見ていると、私自身の中にも否定的な感情が湧き上がってきてしまうのである。

随 essay 筆

ワーク・ライフ・インテグレーション

(医社)まほし会　真星病院
総合支援部 部長　**杉原　麻理子**

つい先日、「ストレス解消に何をしてる？　何が楽しいの？」と聞かれました。そう言われてみると、自分の趣味について考えたのは、学生時代に履歴書を書いた時以来です。その当時は、スノーボード・編み物と書いていた気がしますが、スノーボードなんて収納庫の奥深くで眠り続けており、バッグの中が怖くて開封出来ません。編み物ぐらいなら運動不足の私でもすぐに取り掛かれそうですが、家の掃除も儘ならないのに、息抜きどころか罪悪感でいっぱいになりそうです。

自分の日常を振り返ってみると、平日は仕事で終わり、週末も家にいることはなく、子供たちの用事であっという間に終わり、また仕事だけの１週間が始まります。書いていると、とてもつまらなそうに思えますが、私自身はとても充実していると感じています。

内閣府が「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」を定めた2007年、私自身は社会人に成り立てでワークに必死であり、ライフとのバランスを取ろうとは考えもしない時期でしたので、ワーク・ライフ・バランスを謳う人達や重視している人達が、憧れというよりすごく遠い存在に思えていました。それから数年が経ち、「ワーク・ライフ・インテグレーション」という言葉が注目されています。「ワーク・ライフ・バランス」が、仕事と生活を対立的に捉えており、どちらかに重きをおけばどちらかが犠牲になっているように思えてしまう一方、「ワーク・ライフ・インテグレーション」は仕事と生活をインテグレーション（統合）することで、“仕事が充実すると暮らしの満足度が上がり、暮らしが充実することで仕事のモチベーションが上がる”といった、相乗効果を得ることが出来ると言われています。この言葉を始めて耳にした時、すごく自然に受け入れることが出来、大切にしたい考え方だと思いました。きっと、仕事と生活のバランスが取れていない私が日々に満足出来ているのは、この相乗効果が働いているからなのだと思います。

法人内に於いても、職員に仕事のモチベーション、パフォーマンスを上げてもらうためには、充実した生活を送ってもらう必要があります。それが叶う職場にしたいと考え、少しずつですが整備を進めています。しかし、大きな課題の１つが年間就業時間の短縮です。１日の就業時間を短くしたい人もいれば休日を増やしたい人もいます。また、ライフステージに合わせて、希望形態も変化していきます。多様な働き方を導入するとその分、各部署・部門のマネジメントの難易度が上がり、特に働き手が充足していない職種では、余計に一部の職員に負担をかけてしまうことが明白です。

「新たな取り組みを行うこと」が主目的になってしまわないよう、「法人、職員にとって本当に価値のある方策は何か」ということを常に検討し、職員の仕事も生活も充実させていけるよう尽力したいと思います。

看護の想い

(社医)順心会　順心病院
看護部長　大島　佐代子

看護の職について数十年という歳月が過ぎた今でも時々「看護師の役割とは何か」を自分に問うことがあります。そんな時「看護の原点て・あーて」という一冊の本に出合い、改めて看護について考えることができました。看護という仕事は生命を維持する日常的で習慣的で継続的なケアであることは当たり前なことですが、この当たり前のことを当たり前にやっていかなければ「ケア」とは言えません。その中には一人の人間の生命をどのように考えるかという哲学が必要です。高度医療の過密・入院日数の短縮化・効率化の名のもと省力化が進み看護の本質とかけ離れた考え方や、行動を正当化させる傾向がみられ、看護ケアが作業化し達成感が得られないことがあるのではないでしょうか。看護記録に時間を取られてしまい看護師自身の意識においても、業務をこなすためだけに神経を費やし、安全であることを意識し過ぎて患者自身のQOLを高めることより、自分たちの尺度でのケアを提供してしまっている傾向があるのではないかと考えます。

私たちは、看護を求める方々に対して、その人が「生きている」ことを助けることから人間として「生きていく」ことへの生活支援のために手と耳と声と心をフル活用して、その人の生命と暮らしを維持、継続することに価値を置き、暮らし目線でケアを展開することが、これからの看護には必要なことであると思います。

今は現場での看護業務からは離れていますが、看護管理者としてスタッフたちに、看護の力を信じ、暮らしにこだわり、人に触れ、看護に専心して看護の実践を蓄積していくようサポートしていきたいと思っております。

令和６年度　第３回

理事会議事録（速報）

Ⅰ　日　時　令和６年７月17日㈬
15：00 ～ 16：00

Ⅱ　場　所　兵庫県医師会館
２階大会議室

Ⅲ　兵庫県保健医療部、兵庫県病院局の事業説明

開会前に、兵庫県保健医療部臣永疾病対策課感染症対策官から「新興感染症に対応する医療措置協定の締結状況」、兵庫県病院局井上管理課長から「医師の働き方改革について病状説明の時間内実施」、保健医療部阿部医務課企画調整班長から「入院時食事療養支援事業」について説明を受けた。

Ⅳ　出席者　理事総数20名　出席理事16名
監事総数２名　出席監事１名

理　事：西昂（会長）、髙橋玲比古（副会長）、橋本創（副会長）、森光樹（副会長）、大村武久、那須範滿、大江与喜子、藤久和、宮地千尋、吉田寛、栗原英治、譜久山剛、大西尚、東靖人、井野隆弘、江尻一成

監　事：北川透

オブザーバー：播間利光（事務長会会長）

Ⅴ　会議の成立

理事16名が出席し、定款第34条に規定する定足数を満たしており、本理事会が成立した旨確認された。

Ⅵ　議　長

西昂会長が、定款第33条の規定により議長となった。

Ⅶ　議事の経過の要領及びその結果

（兵庫県病院協会との合同開催）

【共通事項】

１　協議事項

⑴　令和６年度近畿病院団体連合会第１回委員会について

兵庫県病院協会大村会長より、下記のとおり開催されるとの説明があった。また、「提案議題･報告･情報提供事項」、「役員の推薦」、「出席者」の照会があったが、兵庫県病院協会、兵庫県民間病院協会ともに提案議題等はなく、役員の推薦は例年通り常任委員に会長、委員に副会長を推薦し、出席者は会長、副会長、事務局長としたいとの説明があり、協議の結果、全員一致をもって承認し、可決した。

①　日時　令和６年９月12日㈭
13：30 ～ 18：30

②　場所　ホテルグランヴィア大阪
20階　各庭Ａ・Ｂ

⑵　令和６年度病院６団体共催年末特別講演会・懇親会の開催について

大村会長より、下記のとおり開催したいとの説明があり、協議の結果、全員一致をもって承認し、可決した。

①　日　時　令和６年12月３日㈫

15：00 ～ 19：00（予定）

② 会　場　神戸ポートピアホテル

③ スケジュール

ア　特別講演会　15：00 ～ 16：50
（講師及び演題未定）

イ　懇親会　17：00 ～ 19：00
参加費　一人　20,000円
（特別講演会のみの場合は、一人 5,000円）

⑶ 後援名義の使用承認について

大村会長より、以下の支援を行いたい旨の発言があり、協議の結果、全員一致をもって承認し、可決した。

・依頼者　公益社団法人全国病院理学療法協会
・内　容　「第73回日本理学療法学会」の後援名義使用許可
・会　期　令和７年５月16日㈮～ 18日㈰
・場　所　神戸商工会議所
神商ホール・会議室

２　報告事項

⑴ 兵庫県医師会館の休館に伴う事務局の休業について

大村会長より、兵庫県医師会館の休館に伴い、事務局業務を休止させていただく旨の報告があり、了承された。

事務局の休業日　８月13日㈫～ 15日㈭

【兵庫県民間病院協会】

１　協議事項

⑴ 県の委員会等への委員の推薦について

西会長より、委員会等委員の推薦依頼があり、回答期限の関係から県医師会保険委員会へは新たに大西尚理事を、兵庫県疾病対策課から依頼のあった兵庫県難病医療ネットワーク支援協議会及び同難病部会へは引き続き吉田泰久会員を、兵庫県感染症対策連携協議会へは引き続き西会長を推薦した旨説明があり、全員一致をもって承認し、可決した。

所　管	県医師会
委員会名称	保険委員会
被推薦者	大西　尚理事
任　期	R6.7 ～ R8.6

所　管	県疾病対策課
委員会名称	兵庫県難病医療ネットワーク支援協議会及び同難病部会
被推薦者	吉田　泰久会員
任　期	R6.8 ～ R8.3

所　管	県疾病対策課
委員会名称	兵庫県感染症対策連携協議会
被推薦者	西　昂会長
任　期	R6.8 ～ R9.7

２　報告事項

⑴ 第19回研究発表会の開催について

西会長より、以下の報告があった。

・日時　令和６年８月24日㈯
13：30 ～ 17：00（予定）
・場所　兵庫県民会館　けんみんホール、パルテホール、福の間
・発表演題　47演題

⑵ 令和６年度事務長会・看護部長会合同研修会の開催について

西会長より、以下の報告があった。

・日時　令和６年10月26日㈯
14：30 ～ 19：00（予定）
・場所　シーサイドホテル舞子ビラ神戸

⑶ 令和６年度兵庫県看護功績賞被表彰者について

西会長より、以下の報告があった。

（受賞者）

市川　研吾
（医療法人実風会 新生病院）

大塚　景子
（社会医療法人恵風会 高岡病院）

尾畠　直子
（医療法人社団十善会 野瀬病院）

迫田　貴子
（公益財団法人神戸市民間病院協会 神戸看護専門学校）

⑷　**会員の退会について**

西会長より、「信原病院」がクリニックへ変更のため、退会届の提出があった旨報告された。

なお、退会後の会員数は244名となる。

【退会者】

・病院名　信原病院

・会　員　三森　岐栄

・所在地　たつの市揖西町土師720

・退会日　令和６年４月30日

※退会後の会員数244名

⑸　**会員の変更について**

西会長から、以下のとおり会員の変更が報告された。

支部名		神戸
病院名		神戸平成病院
新会員名	役職	院長
	氏名	北河（きたがわ）　宏之（ひろゆき）
旧会員名	役職	院長
	氏名	日髙（ひだか）　昭斉（あきなり）
変更年月日		R6.4.1

支部名		東播
病院名		新淡路病院
新会員名	役職	院長
	氏名	堀（ほり）　貴晴（たかはる）
旧会員名	役職	院長
	氏名	木戸上（きどがみ）　洋一（よういち）
変更年月日		R6.6.21

３　その他

⑴　**電子処方箋導入について**

大江理事から、県医師会の電子処方箋導入の対応について情報提供があった。

令和６年度
第１回近畿病院団体連合会事務長会

日　　時　令和６年７月30日㈫
　　13：30 ～ 18：00
場　　所　都ホテル京都八条
出 席 者　86名
〈兵庫県民間病院協会事務長会関係〉
播間利光会長、西宮謙二副会長、黒川雅博副会長、宮宗欣弘幹事、伊藤仁幹事、下林実幹事、伊田佳史幹事、横内幸男幹事、阿児良典幹事、田中豊人幹事、藤井健幹事、西井欣廉幹事、寺本英徳幹事、金田篤志幹事、橋本盛方事務局長が出席

概　　要

１　開会挨拶

清水鴻一郎京都私立病院協会会長から、連日暑い京都への歓迎のことばと今回の厳しい診療報酬改定や医師の働き方改革への対応、サイバーセキュリティ対策などの共通課題について議論、情報交換し、実りある会議となることを期待する旨の挨拶があった。

２　協議事項

⑴　令和６年度診療報酬改定について

今回の診療報酬改定に伴う、①ベースアップ評価料への対応状況や、②重症度、医療・看護必要度の見直しによる病棟再編計画の有無、③地域包括医療病棟の届出予定等について、共通の事前アンケート結果を基に各団体から報告があった。当協会からは、西宮幹事が報告し、課題や今後の経営への影響等について協議、意見交換した。

⑵　病院事務職員の採用について

事務職員については、各府県からほとんどの病院で不足またはギリギリの状況でやりくりする一方、採用募集しても応募者が少なくなっている厳しい現状の報告があった。当協会からは、藤井健幹事から自病院における採用活動を通じてこの春、実際に採用に至った事例を交え、採用側の熱意と処遇改善の重要性等を報告した。

３　特別講演

講師　表具師　井上　雅博　氏
　　㈱井上光雅堂代表）
演題　「表具師から見る伝統工芸の今」

井上雅博氏は、京表具伝統工芸士（経産大臣認定）、一級表装技能士（厚労大臣認定）であり、74ある京都市伝統産業の一つ「京表具」の仕事に従事。神社・仏閣の表装をはじめ、日本画・書に関わる軸装・額装・屏風等、表装の新調と修復を手掛けられている。近年では、現代美術や新素材と表具の技術を融合させた作品の制作、ホテルや飲食店の室内装飾も数多く手掛けられ、京表具を通して伝統技術の継承と普及に努められている。

表具は仏教の教えを後世に残すために仏教伝来とともに伝わったとのことで、その難しさと奥深さ、魅力と可能性について、氏がこれまでに携わられた修復や装飾の具体例を挙げながらお話いただいた。

病院
かわら版

医療法人社団博愛恵秀会
神戸博愛病院

医事課 課長
溝口 晴彦

私は2018年11月に神戸博愛病院に入職しました。それまでは大阪の病院で20数年勤務しておりました。主な業務は医事課・各種届出業務です。

当院は栄町から現在の西元町に移転して約12年になります。障害者病床32床、療養型病床88床の120床のケアミックスの病院です。当院は兵庫県では残り少ない法人の病院ではなく、個人の病院です。この度、令和６年６月１日より医療法人社団博愛恵秀会神戸博愛病院と変更になりました。今回、医療法人の変更についての話をしたいと思います。

昨年、法人に変更になると聞いた時、「今まで経験したことがないけど法人への変更の書類を出せばいいんだ」と簡単に思っていました。いざ書類の作成を行なうと、神戸市役所・中央区役所との幾度となるやりとりや病院開設届、病院建物使用前自主検査申請、病院建物使用許可申請といった今までほとんど見たことのない書類ばかりで大変でした。

書類の提出が終われば次に診療用Ｘ線撮影装置の廃止届や備付届や近畿厚生局への遡及申請、すべての施設基準の届直し等、いろいろな作業がありました。それと同じ様に大変な作業だったのは令和６年６月１日が経過してから社会保険・国民健康保険のオンラインシステムや労災保険・難病申請といった各方面に連絡や書類提出が多くて大変でした。今後携わることがない様なことを経験出来たことは大変勉強になりました。

最後に医療法人社団博愛恵秀会神戸博愛病院となりましても、今まで通り安全な心温まる地域医療を目指していきたいと思います。

エ　リ　ア　情　報

神戸

（公社）神戸市民間病院協会
令和６年７月度　第２回理事会

日　　時　令和６年７月11日㈭
　　15：00 ～ 16：10
場　　所　神戸看護専門学校　８階講堂

理事総数15名　出席理事数11名
監事総数２名　出席監事数１名

出席役員
代表理事（会長）西昂（議事録作成者）
理　　事　吉田寛、金守良、荻原徹、稲見直邦、吉田泰久、中井正信、藤井正彦、笹野哲郎、大西安代、中野市雄
監　　事　西村元延
出席参与・参事
参　　与　山本正之、藤久和
参　　事　横内幸男、阿児良典、岩城一男、高田郁子

上記のとおり出席があったので定款第33条の規定により会長 西　昂が議長となり、開会を宣し議事に入った。

報告事項１　令和６年６月度管理部門並びに看護専門学校の収支報告
　議長の指名により事務局長から、６月度管理部門並びに神戸看護専門学校収支について報告を行った。
報告事項２　学校報告
　議長の指名により大西学校長から下記の報告を行った。
⑴　学生の状況
１年生：
　6月末コロナ感染症にて出席停止：1名
　入学時より休学中であった学生：７月２日付退学
２年生：
　９月２日～ 11日
　　老年看護学実習（老人保健施設実習）
３年生：
　５月７日～７月25日
　　専門分野実習
　６月末～７月初め
　　コロナ感染症にて出席停止：３名
　夏季休暇中に補充実習を実施する予定
全学年　８月１日～９月１日　夏季休暇
⑵　学校自己点検・学校評価に関する学校関係者委員会
　６月13日　14：30 ～　８階第１会議室にて実施
　会長・副会長出席のもと、令和５年度学校自己点検の調査結果・学生の満足度調査結果を学校より報告の上学校運営等に関し意見を頂いた。
　今後の課題として、受験者数の増加と国家試験の合格率を上げることの意見を受けた。
　学校自己点検結果及び学校関係者委員会の内容、その他学校に関する情報についてホームページにて情報公開を行った。
⑶　講師会議
　６月14日　17：00 ～ 20：00　ANAクラウンプラザホテルにて講師会議・交流会を開催
　外部講師　21名参加
　学校より本校カリキュラム概要、学生状況、看護基礎教育の動向等についての説明後、授業の方法やICT教育について等の質問・意見があり、外部講師との意見交換・

交流を図ることができ盛況な会となった。

⑷　学生募集に関する事

学校見学会開催：

４月以降、10月まで毎月１回土曜日に開催予定。次回　９月21日開催予定。

オープンキャンパス：

８月１日・２日に開催予定。現在申込受付中。

⑸　教職員に関する事

７月初め 職員１名 コロナ感染症に罹患

報告事項３　兵庫県に令和５年度事業報告・決算書提出（6.6.28）

報告事項４　大学等における就学支援に関する法律に定める更新確認申請書の提出（6.6.18）

報告事項５　５月定時総会での役員改選の法人登記完了（6.6.11）

報告事項６　事務長部会・看護部長部会の取り組み

議長の指名により、事務局長より上記報告事項について一括して報告を行った。

議題１　自民党神戸市会議員団への要望について

議長の指名により事務局長から、令和７年度神戸市予算編成に対する最重点要望として、自民党神戸市会議員団へ、例年どおり「固定資産税・都市計画税半額免除の復活」を要望する旨説明を行った。

議長は、この説明を議場に諮った結果、満場一致で原案通り承認し可決確定した。

議題２　神戸市医師会との懇談会について(報告)

議長の指名により事務局長から、６月27日㈭に開催した第28回懇談会について、診療報酬の改定の影響、医師の働き方改革、医師会への理事の推薦など意見交換の内容について報告を行った。

議題３　地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る令和７年度事業提案について

議長の指名により事務局長から、兵庫県保健医療部からの令和７年度事業提案募集の資料の説明を行った上で、この募集資料を会員病院へ周知し提案を募集したところ、相談は１件あったものの結果として会員病院からの提案はなかったことから、協会としての提案はなしとしたい旨説明した。

議長は、この説明を議場に諮った結果、満場一致で原案通り承認し可決確定した。

議題４　その他

・日本ノーリフト協会体験会＆交流会について西会長より紹介。
・中央市民病院開設100周年記念式典・講演会・祝賀会
　７月14日㈰　11：00 ～
　神戸ポートピアホテル
・中央市民病院との連携会議
　７月31日㈬　17：00 ～
　神戸看護専門学校８階会議室
・市民病協・二次救理事会合同納涼会
　８月20日㈫　18：00 ～
　神戸ポートピアホテル
・８月理事会　休会
・９月理事会　９月12日㈭ 15：00 ～ 16：00

議題終了後、第二次救急病院協議会理事会と合同で下記の神戸市関係局より事業等説明を受けた。

①神戸市エンディング・プランサポート事業
（健康局斎園管理課）

②「精神保健福祉対策の強化」のための神戸市新規事業
（健康局保健所保健課及び精神保健福祉センター）

③転院搬送における救急車要請時のご協力について（消防局警防部救急課）

エ　リ　ア　情　報

(一社)神戸市第二次救急病院協議会
第２回理事会議事録

日　　時　令和６年７月11日㈭
　　15：45 ～ 16：50
場　　所　神戸看護専門学校　８階　講堂
出席役員　理事11名　監事２名　実行委員８名
議　　長　東山　洋　副会長

議　　題

１　神戸市エンディングプランサポート事業について（民病合同）

神戸市健康局斎園管理課より、２名の担当者が来訪し、個人が生前に書面により意思表明する「リビングウィル（事前指示書)」を作成し、神戸市と葬儀を契約された事業者が保管し万一の時は医療関係者に情報提供するエンディングプランサポート事業の紹介があった。これを受け西民病会長が合同理事会に諮ったところ、「リビングウィル」書面内容の延命治療項目について不明瞭な点があると指摘があり神戸市に持ち帰り再検討する事となった。

２　精神保健福祉対策強化の為の神戸市新規事業について（民病合同）

神戸市健康局精神保健福祉センター他より２名の担当者が来訪し精神保健福祉対策の強化の為の神戸市新規事業について紹介があった。紹介時間の関係で、幾つかの新規事業の内、医療機関に係る事業で、先ず「自殺防止対策の強化」として、自殺死亡者の40%は過去に自殺未遂歴があり、その自殺未遂を繰り返した者の約80%が手段を変えて自殺に至っているとの統計があるとし、自殺未遂者支援を救急医療機関と連携した積極的なフォローアップ事業を行いたいとした。それは自殺未遂者及び家族への支援に加えて救急医療現場の職員向けの未遂者支援ツールの作成、支援者研修及び事例検討会の実施するとして救急医療機関への協力依頼があった。又、近年、若年層を中心に市販薬を大量に摂取する「オーバードーズ」が深刻な社会問題になっており、救急医療機関への搬送件数も増加しその依存症対策の協力も依頼された。

３　神戸市消防局より転院搬送における救急車要請の協力依頼について（民病合同）

神戸市消防局より２名の担当者が来訪し、転院搬送における救急車要請時の協力依頼があった。それによると、神戸市の救急出動件数は年々増加して来ており、今年度も６月30日時点で昨年度比率約２％増となっている。例年、熱中症が多発するこれからの時期は更に救急需要の増加が予測され、真に緊急性の高い傷病者への救急搬送が不可欠となる。又、神戸市消防局ではかねてより救急車の適正利用の啓発や救急需要対策への取り組みを推進している。そこでこれらの状況をご理解頂き、各会員病院からの転院搬送の救急車要請を検討ご判断して頂きたいと依頼された。依頼の詳細内容としては救急事案多発時には、搬送元医療機関で可能な限り傷病者管理（時間調整）をお願いしたり、緊急性の高い傷病者の転院搬送を除き、患者等搬送事業者（民間救急）等を活用して頂く依頼になるとした。加えて神戸市消防局作成の転院搬送ガイドライン・令和５年度転院搬送に関する統計資料・病院送迎紹介センター（おくる電）・福祉タクシー、民間救急予約システム（mairuシステム）・神戸市消防局認定民間救急一覧表が参考資料として添付された。以上の協力依頼については改めて最終決定文書として、後日事務局へ要請依頼があり会員病院へ通知の申し合わせとなった。

４　救急安心センター（#7119）の運用見直しにおける試行期間の設置について

神戸市健康局地域医療課より２名の担当者

が来訪し、救急安心センター事業について、今後のさらなる救急需要の増大、又、＃7119での救急電話相談件数の増加を見据え、不急の救急車利用や夜間休日の救急医療機関受診への対策として、今年度下半期から運用を見直す予定であるとし、其の一部を試行期間として実施したいとした。具体的にはこれまでは救急電話相談で緊急度判定した事案で、赤判定（救急車を要請）となった相談の全てを消防管制室へ転送するように推奨してきたが、今後は転送対象を指定の項目に該当する症状のみに絞り込みを行い、指定項目以外の症状は、原則相談者自身で119番へかけ直しを行うよう勧めるという内容であった。試行運用期間は令和６年７月15日㈪～９月30日㈪とし、本運用はその他見直し項目を検討の上、10月１日を予定しているとし、９月度の理事会にて再度事前報告を行うとした。これを受け、東山副会長が理事会に諮ったところ意義なく承認された。明日、事務局より試行運用説明資料と共に会員病院へ通知する事となった。

5　石原災害医療センター長からの外傷診療の質評価への協力依頼について

石原センター長より、パワーポイントにて、以前より臨床研究されている【地域における「避けられた外傷死」の撲滅を目指して】について、当協議会へ協力依頼があった。石原センター長の紹介事例では、この臨床研究は様々な手法を用いて抽出されたデータをスコア数値で表し比較検討評価するもので、日本国内外を問わず、臨床研究されているものであった。更に石原センターはこの臨床研究を神戸市内での兵庫県警交通事故死データと神戸市消防局救急搬送データをリンクさせ調査された報告もあった。それによると、神戸市内交通事故死亡搬入施設の区分（2014～2016、総数 114）でその大半を占めるのは、災害医療センター・中央市民病院・搬入施設なしの３区分で二次救急病院には３例であったとした。そして最後に、石原センター長から、今後もこの臨床研究を継続して行くとして当協議会の協力を依頼され締め括った。後日事務局よりこの臨床研修はレジメを添付し、会員病院へ紹介する事となった。

6　二次救急輪番制当番引受必須義務達成について（令和６年４月～６月）

釜戸事務局長より、定款に則り標記状況について結果報告があった。それによると神戸徳洲会病院を除く44病院が当番引受必須義務単位数（17.5単位）は無事にクリアされているとの事であった。これを受け東山副会長が理事会に諮ったところ意義なく承認された。

東阪神

事務長会定例会　議事録

日　時　令和６年７月19日㈮　15：00～
場　所　尼崎市中小企業センター　502号室
出　席　西宮、宮宗、鈴木、井上、廣、野崎、川原、辻脇、斉藤、浦野、石橋、徳岡、堀、東、向井、辻井、畑林、池上、伊藤
計19名

議　題

1　兵庫県民間病院協会　事務長会・看護部長会合同幹事会報告（担当：西宮会長）

７月３日 16：00兵庫県医師会館にて開催。会報の随筆・かわら版担当者選定。研究発表会の座長選出。７月30日の近畿病院団体連合会事務長会打合せ等に関して確認、情報交換がなされた。

2　診療情報改定情報交換（担当：各会長）
　地域包括医療病棟に情報提供、意見交換がなされた。
3　保健所、近畿厚生局立入調査情報交換
（担当：各事務長）
　尼崎地区では8月に保健所による説明会予定。
　みやそう病院　8月21日保健所立入調査予定。
に関して情報提供、情報交換がなされた。
4　その他
・長期収載品の処方等、調剤について選定療養。
・年金機構が加入者調査
・コロナ感染症（KP3）による影響
に関して情報交換がなされた。

次回開催予定日
　令和６年９月19日㈭　15：00 ～

西阪神

2024年度　事務長研修会　議事録

開催日時　令和６年７月18日㈭
　　15：30 ～ 16：45
開催場所　宝塚リハビリテーション病院　会議室
出 席 者　33名のうち14名出席
議　　長　野原会長
書　　記　榎本会報編集委員

議　　案
はじめに　新会員～初参加者からの挨拶
・宝塚第一病院　藤田事務長補佐より挨拶。
1　医事部会より報告（保険委員会　さんだリハビリテーション病院　石田事務長）
・医事部会の議事録より、連絡事項 ３項目、議題 ４項目の報告がなされた。
→施設基準の適時調査について、直近で近畿厚生局より打診のあった病院があるか。（野原事務長）
→本会に出席した病院の中では、適時調査の打診のあった病院はなかった。
2　院長会総会の開催報告（野原会長）
・７月２日、ホテルヒューイット甲子園で開催された「西阪神民間病院協会　院長会総会」について報告がなされた。
→院長会・事務長会・看護部会 三者合同懇親会など、未定の事業計画については、決まり次第、関係者に連絡する。
（野原会長）
3　職員入職時の健診結果の把握について
（野原会長）
・入職時健診で法定項目及び法定項目以外の感染症検査（Ｂ型肝炎、Ｃ型肝炎、梅毒 等）を行い、陽性であった場合に使用者側に伝えているか。
→健診結果については産業医が判断し、問題がある場合のみ管理職層へ報告あり。ただ、入職前の健診結果での内定取り消しは不可。（明和病院　池崎事務長）
→雇用者の義務の一つに「夜勤者の健康状態への配慮義務」があるが、その兼ね合いの中で病院側も把握しているのが現状。（野原会長）
→個人情報保護にとらわれず、健診結果によっては、雇用者側の所見の把握は必要。（上ヶ原病院　吉田事務長）
4　新型コロナの動向について（野原会長）
・各病院の新型コロナの感染者の状況の確認。
→患者・職員合わせて、10名～ 20名の感染者が発生しクラスター化した病院もあれば、数名で留まっている病院もあった。
→医療機関内だけでなく市中感染の数も増

えてきているので、注意していきたい。（野原会長）

5　事務系の人員配置に関するアンケートについて（三好病院　山口参与）

・事務系職員の人員配置について、各病院でいろいろな組織形態や配置人数があると思うが、アンケート形式で質問を投げかけたい。

→アンケートの設問など三好病院で整理して、三好病院から本会のメンバー宛にメールで配信をお願いしたい。（野原会長）

→アンケート結果については、回答のあった病院にだけ返信する形で、公平性を担保してほしい。（下林副会長）

◎次回の事務長研修会の予定

・日時：令和６年８月15日㈭　15：30～

・場所：西宮医師会　会議室（予定）

ただし、新型コロナウイルス感染症の感染動向により、変更や中止の場合がある。

西播

令和６年度　定時総会

日　時　令和６年６月13日㈭　18：00～

場　所　ホテルモントレ姫路　３階「メヌエット」

議　題

Ⅰ　定時総会司会　（井野理事）

1　開会

2　開会の挨拶　（森会長）

3　議案

⑴　令和５年度事業報告　（井上副会長）

⑵　令和５年度会計報告　（中空監事）

会計監査報告　（妻鹿監事）

4　閉会の挨拶　（尾﨑理事）

Ⅱ　医療連携交流会（特別講演）

第一部　特別講演

会場：14階「シエル」　18：30～19：20

司会　（事務局　寺本　英徳）

座長　（理　事　江尻　一成）

演題①　「人生の最終段階にあり心肺蘇生等を望まない心肺停止傷病者への救急隊基本的活動プロトコル」

講　師　姫路市消防局　救急課課長補佐　奥見　和昌　様

演題②　「播磨姫路救急搬送システム（通称HEARTS）について」

講　師　姫路市消防局　救急課　主任　習田　良輔　様

第二部　医療連携交流会

会場：３階「ラフェスタ」　19：30～

司会　（監事　中空　浩志）

1　来賓のご挨拶

姫路市長　清元　秀泰　様

兵庫県西部医師会連合会　副会長　大岩　敏彦　様

2　会長のご挨拶

西播民間病院協会 会　長　森　　光樹

3　乾杯

西播民間病院協会 副会長　入江　善一

4　閉会のことば

西播民間病院協会 副会長　井上　喜通

令和６年度　第３回　理事役員会

日　時　令和６年７月20日㈯　13：00～

場　所　姫路キャッスルホテル　２階松竹の間

議　題

1　兵庫県民間病院協会　理事会からの報告

⑴　兵庫県保健医療部の事業説明について

エ　リ　ア　情　報

① 新興感染症に対する医療措置協定の締結状況について
② 医師の働き方改革について
病状説明の時間内実施
③ 入院時食事療養支援事業について

(2) 令和６年度病院６団体共催年末特別講演会・懇親会の開催について
① 日時　令和６年12月３日(火)
15：00 ～ 19：00
② 会場　神戸ポートピアホテル
③ スケジュール
ア　特別講演会　15：00 ～ 16：50
(講師及び演題未定)
イ　懇親会　17：00 ～ 19：00
参加費　お一人20,000円
(特別講演会のみの場合は、お一人5,000円)

(3) 第19回研究発表会の開催について
・日　　時　令和６年８月24日(土)
13：30 ～ 17：00
・場　　所　兵庫県民会館　けんみんホール、パルテホール、福の間
・発表演題　47題

(4) 令和６年度事務長会・看護部長会合同研修会の開催について
・日時　令和６年10月26日(土)
14：30 ～ 19：00
・場所　シーサイドホテル舞子ビラ神戸

２　西播民間病院協会　検討･報告項目
(1) 第１回 姫路市地域医療連絡会議 救急医療専門部会について
(2) 令和６年度定時総会の会計報告について
(3) 事務長会・看護部長会への助成金増額のお願い

３　その他
(1) 次回役員会の日程
日時：令和６年９月21日(土)　13：00 ～
場所：姫路キャッスルホテル
２階松竹の間
※８月の理事役員会は休会です。

協会だより

令和６年８月	13日(火)～ 15日(木)	兵庫県医師会館の休館に伴う事務局業務停止
	19日(月)	会報編集委員会
	24日(土)	第19回研究発表会
	29日(木)	第１回兵庫県感染症対策連携協議会

〔予定〕

令和６年９月	２日(月)	兵庫県医療審議会地域医療対策部会
	12日(木)	近畿病院団体連合会第１回委員会
	18日(水)	会報編集委員会
	19日(木)	理事会

研修会・講演会のご案内

第42回　事務長会・看護部長会合同研修会

今年の夏も猛暑となり、毎日厳しい暑さが続いておりますが、皆様方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今回の合同研修会では、読売テレビの夕方の顔としてニュース番組のキャスターを務めていた清水健氏をお招きし、下記内容で研修会を開催します。

清水健氏は2015年に妻を亡くされ、その後、育児をしながら自身の経験を語り、多くの人の心に寄り添い、日常への感謝を伝え続けています。 2016年には一般社団法人清水健基金を設立され、がん治療や患者の支援に携わる団体への寄付を行っておられます。

医療・介護を通して多くの方々の命に携わる私たちにとって、改めて大切なことを考えさせていただける機会になると思います。

是非、多くの方にご参加いただけますよう、ご案内いたします。

記

日　　時　令和６年10月26日㈯　14：30　開会（14：00　受付開始）
特別講演　15：00～
懇 親 会　17：00～

場　　所　シーサイドホテル舞子ビラ神戸
（兵庫県神戸市垂水区東舞子町18－11）
（電話：078－706－3711）

特別講演　「大切な人の“想い”とともに」（仮）
講師：清水　健（しみず　けん）氏
［フリーアナウンサー］

会　　費　研修会・懇親会16,000円
（宿泊を伴う場合は、別途主催支部にご相談ください。）
（一般職員が講演のみの参加の場合は4,000円）
※事務(部)長・看護部長は講演のみの参加はできません。

公益社団法人 全日本病院協会

2024年度　第４回常任理事会

日　時　2024年７月20日㈯　13：00～16：30
場　所　全日本病院協会　大会議室
出席者　定数26名、出席23名

議　事　要　旨（抜　粋）

厚生労働省医薬局総務課電子処方箋サービス推進室より、電子処方箋について説明が行われた。

【主な報告事項】

●中央社会保険医療協議会　診療報酬改定結果検証部会について

津留常任理事より下記の報告がされた。
（第70回・2024.6.12）

- 2024年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査の実施が了承された。

●中央社会保険医療協議会　総会について

津留常任理事より下記の報告がされた。
（第590回・2024.6.12）

- 診療報酬改定結果検証部会から、2024年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査について説明が行われ了承された。
- 費用対効果評価専門組織から、「テゼスパイア皮下注」の費用対効果評価案が提示され了承された。
- オルミエント錠の最適使用推進ガイドラインが改訂されたため、保険適用上の留意事項通知を発出した旨が報告された。
- 公知申請とされた適応外薬の保険適用について、2024年４月26日の薬事審議会医薬品第一部会における事前評価が終了し、公知申請して差し支えないとされ、同日付で保険適用となったことが報告された。
- DPC対象病院２病院の退出について報告が行われた。
  また、2024年度診療報酬改定において新設された地域包括医療病棟への病棟再編を行う場合も、「病床機能の転換を理由に退出する場合」の類型として取扱い、厚生労働省保険局医療課において審査及び決定する旨が報告された。
- 先進医療会議における先進医療Ａ及びＢの科学的評価結果が報告された。
- 2024年度診療報酬改定で新設された医療DX推進体制整備加算について、マイナンバーカードの保険証利用の利用実態等に係る医療機関・薬局へのヒアリングを実施することが説明された。

●中央社会保険医療協議会　入院・外来医療等の調査・評価分科会について

津留常任理事より下記の報告がされた。
（2024年度第１回・2024.6.14）

- 2024・2025年度調査のスケジュール案、調査項目・内容案が提示され議論した。
- 医療機関等における賃上げの実施状況の把握の方法案が提示され議論した。

●中央社会保険医療協議会　診療報酬基本問題小委員会について

津留常任理事より下記の報告がされた。
（第223回・2024.7.3）

- 入院・外来医療等の調査・評価分科会から、2024・2025年度調査、医療機関等における賃上げの実施状況の把握の方法案等が報告された。

●中央社会保険医療協議会　総会について

津留常任理事より下記の報告がされた。
（第591回・2024.7.3）

- 診療報酬基本問題小委員会から、入院・外来医療等の調査・評価分科会での2026年度診療報酬改定に向けた対応案、2024・2025年度調査、医療機関等における賃上げの実施状況の把握の方法案が報告され了承された。
- DPC対象病院４病院の退出について報告が行われた。
- ７月１日時点で取り纏められた主な施設基準の届出状況等が報告された。
- 医療DX推進体制整備加算に係るヒアリング結果が報告され、課題と論点が提示され議論した。

●中央社会保険医療協議会　薬価専門部会について

津留常任理事より下記の報告がされた。
（第225回・2024.7.17）

- 2025年度薬価改定について、課題と論点が提示され議論した。

●中央社会保険医療協議会　総会について

津留常任理事より下記の報告がされた。
（第592回・2024.7.17）

- 薬価専門部会から、2024年度医薬品価格調査（薬価調査）の報告が行われた。
- 2024年８月収載予定の臨床検査の保険適用が了承された。
- 長期収載品の処方等又は調剤に係る選定療養について説明が行われた。
- 歯科用貴金属価格の随時改定について報告が行われた。
- 武見敬三厚生労働大臣から中央社会保険協議会の小塩隆士会長に「医療DXに係る診療報酬上の評価の取扱いについて」諮問が行われた。
- 武見敬三厚生労働大臣宛の答申書が了承された。

●社会保障審議会医療部会について

神野副会長より下記の報告がされた。
（第108回・2024.6.7）

- かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に向けた検討状況が報告された。

（第109回・2024.7.12）

- 新型インフルエンザ等対策政府行動計画及びガイドラインの改定の検討状況（医療部分）が報告された。
- 医療DXの更なる推進について、①基本的な考え方、②マイナンバーカードの健康保険証の一体化の加速等、③全国医療情報プラットフォームの構築、④電子カルテ情報の標準化等、⑤診療報酬改定DX、⑥医療DXの実施主体について説明が行われた。
- 「経済財政運営と改革の基本方針2024」、「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024改訂版」及び「規制改革実施計画」について報告が行われた。

●かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に関する分科会について

織田副会長より下記の報告がされた。

（第６回・2024.6.21）
- かかりつけ医機能に関する医療機能情報提供制度の見直し案が提示され議論した。
- 障害のある方に対するかかりつけ医機能について、障害者団体･関係団体からヒアリングを行った結果を踏まえた対応案が提示され議論した。
- かかりつけ医機能の確保に向けた医師の研修骨子案として、①かかりつけ医機能の確保に向けた医師の教育や研修の充実に関する基本的な考え方、②かかりつけ医機能報告の報告対象として該当する研修、③厚生労働科学研究班による詳細の検討が提示され議論した。

（第７回・2024.7.5）
- 報告を求めるかかりつけ医機能の内容案として、①１号機能「継続的な医療を要する者に対する発生頻度が高い疾患に係る診療その他の日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能」の有無及びその内容、②２号機能の有無及びその内容、③その他の報告事項が提示され議論した。
- 分科会でのこれまでの議論をとりまとめた「議論の整理案」が提示され議論した。

（第８回・2024.7.19）
- 前回の議論等を踏まえた「議論の整理案」修正版が提示され了承された。

●新たな地域医療構想等に関する検討会について

猪口会長より下記の報告がされた。

（第６回・2024.6.21）
- 新たな地域医療構想に関する論点として、①新たな地域医療構想の方向性（総論）、②新たな地域医療構想の具体的な内容、その達成に向けた取組（各論）が提示され議論した。

●高齢者医薬品適正使用検討会について

美原副会長より下記の報告がされた。

（第18回・2024.6.21）
- 2023年度事業（業務手順書等の見直し）について報告が行われた。
- 2024年度事業の取組として、①見直しを行った指針及び業務手順書の地域における運用調査、②医療機関でのポリファーマシー対策業務の効果に係るエビデンス調査・検討を予定していることが説明された。

●医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会について

神野副会長より下記の報告がされた。

（第５回・2024.7.3）
- 2025年度医学部臨時定員の意向について、前回の配分方針に沿って臨時定員を配分した場合、2025年度医学部定員上限の範囲内に収まることから、当該方針に沿って配分可能となる見込みであることが説明された。
- 今後の医師偏在対策について、①医師養成過程での地域枠の活用（臨時定員地域枠、恒久定員内地域枠）、②総合的な診療能力を有する医師の育成・リカレント教育（総合診療専門医、総合的な診療能力を有する医師の養成）について議論した。

●特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会について

猪口会長より下記の報告がされた。

（第20回・2024.7.3）
- 特定機能病院の現状等について説明が行われ、その後フリートークが行われた。
- 今回挙げられた意見を踏まえ論点を整理し、２～３回程度で検討意見集約を行い、年内目途に一定の意見集約、とりまとめを行うこととした。

●地域医療構想及び医師確保計画に関するワーキンググループについて

織田副会長より下記の報告がされた。

（第15回・2024.7.10）
- 地域医療構想の進捗等について、①地域医療構想調整会議における検討状況等調査、②病床数の変化等、③今後の対応方針案が提示され議論した。

- 2024年度病床機能報告について、①地域包括医療病棟入院料の取扱い、②報告項目の追加が提示され議論した。
- 推進区域案及びモデル推進区域案が提示され議論した。

●医療事故調査制度への病院としての対応に関する注意喚起について

今村常任理事より、医療安全・医療事故調査等支援担当委員会がとりまとめた注意喚起案について説明が行われた。

上記説明を受け、「遺族からの申し出窓口を設置し、申し出があった場合には事故調査を検討すること」の部分について、文章の表現の見直しや補足的な資料の必要性に関して指摘があり、再度、委員会で検討することとした。

●第65回全日本病院学会 in 京都 委員会企画の全日病ニュース編集方針について

宮地常任理事より、第65回全日本病院学会 in 京都における各委員会企画の全日病ニュース掲載に関する編集方針が報告された。

●各種研修会案内について

猪口常任理事より、各種研修会を下記の通り開催することが報告された。

⑴　2024年度個人情報管理・担当責任者養成研修会アドバンストコース
- ・日　時　2024年10月10日㈭ 10：00 ～ 16：30
- ・会　場　全日本病院協会　大会議室
- ・定　員　48名
- ・対　象　当協会が実施した「個人情報管理・担当責任者養成研修会ベーシックコース」の受講修了者が望ましい
- ・参加費　23,100円（税込）

●各委員会報告について

- 救急・防災委員会委員長の加納常任理事より、2024年能登半島地震に出動したAMAT隊員より派遣先の病院から「業務調整員」の具体的な職種に関する質問を多く受けたことを受け、AMATベストの背部に、「病院名＋職種」を記載したシートを装着することに決定したことが報告された。

●厚生労働省、日医、各団体報告について

- 神野副会長より、医師臨床研修マッチング協議会運営委員会（2024年度第１回）の報告が行われた。
- 井上常任理事より、一般社団法人日本専門医機構理事会（第５期第25回・第６期第１回）の報告が行われた。

【討議事項】

●全日病におけるサイバーセキュリティ支援策について

猪口会長より、厚生労働省から医療機関等におけるサイバーセキュリティ対策の強化について注意喚起がなされ、インシデント発生時に備えて、インシデントを認知した際の対処手順を確認し、外部関係機関への連絡体制や組織内連絡体制等を準備するため、自己診断機能としてチェックリストが導入され、その保管並びに立ち入り検査時の確認・指導がなされる取組みについて説明が行われた。

引き続き、事務局より、当協会では会員向けの支援として、2022年５月より、東京海上日動火災保険株式会社による「全日病サイバーリスク保険」の取扱いをしているが、加入率は全体の約15％程度であり、この度、東京海上日動火災保険株式会社から、加入率を上げるため、また、会員病院支援の一助として「全日病サイバーリスク保険（全員加入制度）（新設）」＋「団体サイバーリスク保険（保険料の引下げによる加入促進）」の提案があったことが説明された。

猪口会長より、医療DXに関して、サイバーセキュリティを含めて新委員会を立ち上げるとともに、東京海上日動火災保険株式会社からの上記提案を検討する考えが示された。

兵庫県病院協同組合だより

金額単位：円

7月度事業報告	種　目	件　数	取扱高	前年同月比	種　目	件　数	取扱高	前年同月比
	1．融　資	0病院			6．牛　乳	1病院	32,140	12,010
	2．寝　具	26病院	7,095,806	97,749	7．防　虫	0病院	0	0
	3．白　衣	22病院	9,188,976	△ 116,645	8．保　険	（手数料収入）	△ 199	△ 3,354
	4．患者衣	9病院	658,008	△ 73,299	9．飲　料	（手数料収入）	5,044	△ 684
	5．パ　ン	0病院	0	0	10．その他	（手数料収入）	0	△ 5,383

７月理事会

日　　時　令和６年７月17日㈬
14：30 ～ 15：00
場　　所　兵庫県医師会館　６階　第１会議室
役員総数　理事８名、監事２名
出席理事　８名（うち本人出席４名）
（うち議決権行使書出席４名）
出席監事　１名
議　　題

１　報告事項

⑴　６月度事業及び収支について
・事務局長より資料に基づき報告、了承された。

２　協議事項

⑴　役員退職慰労金について
・５月の総会をもって退任された古瀬先生に対して、規定に基づき退職慰労金を支給することについて異議なく承認された。

⑵　就業規則の一部改正について
・職員の様々な事情に応じた柔軟な休暇取得に対応するため、新たに時間単位の年次有給休暇を設ける事について異議なく承認された。

⑶　賛助会企業㈱アペックス西日本の退会について
・同社より、体制変更に伴う賛助会員の脱退申し出がある旨報告したところ、同社都合によるもので退会に応じる事で承認された。

⑷　神戸博愛病院の組合脱退並びに医療法人社団博愛恵秀会神戸博愛病院の組合加入について
・法人設立に伴う脱退・加入手続きを行うものであり異議なく承認された。

３　その他事項

⑴　事務局の運営等について
・政府保有の商工中金株式の競争入札について
政府保有の株式の入札について、同庫より入札参加の案内がある旨報告。
協議の結果、組合で保有の株式と同額で50千株を入札参加することで了承された。
・事務局長の後任について
後任の局長について、みなと銀行、他企業等も含めて人材の派遣交渉をすすめている旨報告した。次回９月の役員会で詳細を報告することで了承された。

⑵　次回役員会等の開催日時について
・定例役員会
令和６年９月19日㈭　14：30 ～ 15：00
医師会館６階　第１会議室
※例年通り８月の役員会は休会とします

兵庫県病院企業年金基金だより

令和６年度　第１回理事会・第18回代議員会開催
〔令和５年度決算が承認されました。〕

令和６年７月24日神戸市中央区のホテルオークラ神戸において、令和６年度第１回理事会・第18回代議員会が開催され、令和５年度兵庫県病院企業年金基金事業報告、決算に関する報告及び決算監査報告等について審議され承認されました。

《議　　題》

議案第１号　「令和５年度兵庫県病院企業年金基金事業報告、決算に関する報告及び決算監査報告」について

令和５年度兵庫県病院企業年金基金事業報告、決算に関する報告及び決算監査報告が承認されました。

令和５年度

決算に関する報告書

年金資産（固定資産）は 91 億に

７月24日に開催されました第18回代議員会で、当基金の令和５年度決算が可決・承認されましたので、その概要をお知らせします。

年金経理

（円）

■貸借対照表（令和６年３月31日現在）

資産勘定		負債勘定	
科　目	決算額	科　目	決算額
１．純資産			
流動資産	78,592,864	流動負債	0
固定資産	9,100,517,344	支払備金	208,356,944
計	9,179,110,208	計	208,356,944
２．負債			
		責任準備金	7,166,344,000
		計	7,166,344,000
３．基本金及び総合計			
繰越不足金	0	別途積立金	1,789,811,253
当年度不足金	0	当年度剰余金	14,598,011
計	0	計	1,804,409,264
総合計	9,179,110,208	総合計	9,179,110,208

■損益計算書（自 令和５年４月１日 至 令和６年３月31日）

費用勘定		収益勘定	
科　目	決算額	科　目	決算額
１．経常収支			
給付費	475,413,527	掛金等収入	474,120,500
移換金	16,454,600	受換金等	0
運用報酬等	41,311,154	運用収益	669,877,851
業務委託費等	26,771,362		
運用損失	0		
計	559,950,643	計	1,143,998,351
２．特別収支			
特別支出	0	特別収入	0
繰入金	0	受入金	0
計	0	計	0
３．負債の変動			
責任準備金増加額	569,449,697	責任準備金減少額	0
計	569,449,697	計	0
４．基本金及び総合計			
繰越不足金処理金	0	別途積立金取崩金	0
別途積立金積増金	0	当年度不足金	0
当年度剰余金	14,598,011		
計	14,598,011	計	0
総合計	1,143,998,351	総合計	1,143,998,351

業務経理・業務会計

（円）

■**貸借対照表**（令和６年３月31日現在）

資産勘定		負債勘定	
科　目	決算額	科　目	決算額
流動資産	169,823,454	流動負債	11,614,990
固定資産	0	固定負債	0
繰越不足金	0	繰越剰余金	142,384,644
当年度不足金	0	当年度剰余金	15,823,820
計	169,823,454	計	169,823,454

■**損益計算書**（自 令和５年４月１日 至 令和６年３月31日）

費用勘定		収益勘定	
科　目	決算額	科　目	決算額
事務費	41,109,434	掛金収入	67,731,500
代議員会費	373,214	受入金	0
業務委託費等	2,124,400	雑収入	220,000
機械処理経費	0	不足金	0
繰入金	5,533,850		
雑支出	2,986,782		
剰余金	15,823,820		
計	67,951,500	計	67,951,500

業務経理・福祉事業会計

（円）

■**貸借対照表**（令和６年３月31日現在）

資産勘定		負債勘定	
科　目	決算額	科　目	決算額
流動資産	0	流動負債	0
固定資産	0	固定負債	0
繰越不足金	0	繰越剰余金	0
当年度不足金	0	当年度剰余金	0
計	0	計	0

■**損益計算書**（自 令和５年４月１日 至 令和６年３月31日）

費用勘定		収益勘定	
科　目	決算額	科　目	決算額
事務費	1,099,820	受入金	5,533,850
福祉事業費	4,320,000		
雑支出	114,030		
計	5,533,850	計	5,533,850

兵庫県病院企業年金基金資産別運用状況一覧表（2024年4月～2024年7月）

収益率計算方法　：　修正ディーツ法
総合口６資産分解　：　分解する

金額単位　：円

ファンド名	速確区分	国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		キャッシュ等（短期資金）		キャッシュ等（その他）		資産全体		資産全体	
		時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	修正総合利回り	
		時価総額（構成比）		時価総額（構成比）		時価総額（構成比）		時価総額（構成比）		時価総額（構成比）		時価総額（構成比）		時価総額（構成比）		（構成比）	
ベンチマーク	－	-2.55%	－	1.14%	－	1.19%	－	4.22%	－	0.00%	－	0.00%	－	－	－	－	－
総合計	確	-2.41%	－	1.12%	－	1.22%	－	4.22%	－	0.01%	－	0.49%	－	-0.52%	－	-0.52%	－
		4,803,508,952		902,368,761		804,906,166		867,107,253		319,710,902		1,325,024,789		9,022,626,823			
		53.24%		10.00%		8.92%		9.61%		3.54%		14.69%		100.00%		100.00%	
みずほ信託銀行合計	確	-2.57%	－	1.11%	－	1.24%	－	4.21%	－	0.00%	－	0.51%	－	-0.49%	－	-0.49%	－
		3,080,779,695		613,514,496		542,054,268		586,144,053		258,465,920		1,260,817,400		6,341,775,832			
		48.58%		9.67%		8.55%		9.24%		4.08%		19.88%		100.00%		70.29%	
みずほ信託銀行バランス	確	-2.57%	－	1.11%	－	1.24%	－	4.21%	－	0.00%	－	－	－	-0.74%	－	-0.74%	－
		3,080,779,695		613,514,496		542,054,268		586,144,053		258,456,903		－		5,080,949,415			
		60.63%		12.07%		10.67%		11.54%		5.09%		－		100.00%		56.31%	
みずほ債券ＳＡ	確	－	－	－	－	－	－	－	－	0.00%	－	-0.32%	－	-0.32%	－	-0.32%	－
		－		－		－		－		9,017		638,702,810		638,711,827			
		－		－		－		－		0.00%		100.00%		100.00%		7.08%	
みずほファラロン	確	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1.38%	－	1.38%	－	1.38%	－
		－		－		－		－		－		622,114,590		622,114,590			
		－		－		－		－		－		100.00%		100.00%		6.90%	
三井住友信託銀行バランス	確	-2.54%	－	1.17%	－	1.18%	－	4.23%	－	0.00%	－	0.00%	－	-0.71%	－	-0.71%	－
		768,650,376		151,397,400		137,319,738		147,716,240		0		64,207,389		1,269,291,143			
		60.56%		11.93%		10.82%		11.64%		0.00%		5.06%		100.00%		14.07%	
三菱ＵＦＪ信託銀行バランス	確	-2.55%	－	1.14%	－	1.20%	－	4.24%	－	0.03%	－	－	－	-0.73%	－	-0.73%	－
		717,154,829		137,456,865		125,532,160		133,246,960		60,076,846		－		1,173,467,660			
		61.11%		11.71%		10.70%		11.35%		5.12%		－		100.00%		13.01%	
りそなマルチ	確	0.67%	－	－	－	－	－	－	－	0.00%	－	－	－	0.67%	－	0.67%	－
		236,924,052		－		－		－		1,168,136		－		238,092,188			
		99.51%		－		－		－		0.49%		－		100.00%		2.64%	

注）「ファンド名」-「ベンチマーク」は、ファンド「総合計」のベンチマークの値を表示。

兵庫県病院企業年金基金時価増減一覧表（2024年4月～2024年7月）

収益率計算方法　　：　　修正ディーツ法

金額単位　：円

ファンド名	速確区分	2024年3月末時価総額	2024年7月末時価総額	増減額				時間加重収益率	複合ベンチマーク騰落率
					掛金等	給付等	収益		
総合計	確	9,100,517,344	9,022,626,823	-77,890,521	158,118,267	188,495,699	-47,513,089	-0.52%	—
みずほ信託合計	確	6,403,600,552	6,341,775,832	-61,824,720	158,118,267	188,495,699	-31,447,288	-0.49%	—
みずほ信託バランス	確	5,149,179,301	5,080,949,415	-68,229,886	158,118,267	188,495,699	-37,852,454	-0.74%	—
みずほ債券ＳＡ	確	640,783,901	638,711,827	-2,072,074	0	0	-2,072,074	-0.32%	—
みずほファラロン	確	613,637,350	622,114,590	8,477,240	0	0	8,477,240	1.38%	—
三井住友信託バランス	確	1,278,330,889	1,269,291,143	-9,039,746	0	0	-9,039,746	-0.71%	—
三菱UFJ信託バランス	確	1,182,082,187	1,173,467,660	-8,614,527	0	0	-8,614,527	-0.73%	—
りそなマルチ	確	236,503,716	238,092,188	1,588,472	0	0	1,588,472	0.67%	—

【月末マーケット指数】

	NOMURA-BPI	日興CB	TOPIX 配当込み	FTSE世界国債	MSCI-KOKUSAI	コール有担保	日経平均(円)	10年国債	為替(円/ドル)	米国NYダウ(ドル)	米10年国債	為替(円/ユーロ)
2024年3月末	366.497	-	4,699.20	587.98	8,067.185	-	40,369.44	0.725	151.345	39,807.37	4.20	163.453
2024年7月末	357.155	-	4,752.72	594.97	8,407.349	-	39,101.82	1.045	150.460	40,842.79	4.09	162.813
年度末比上昇率幅	-2.55%	-	1.14%	1.19%	4.22%	-	-3.14%	-	-0.58%	2.60%	-	-0.39%

ISR

Intelligent Social Reliance

アウトソーシング サポート

ISRビル（統括本部）

〒650-0026
神戸市中央区古湊通１丁目２番
（ISR ビル）

（業務案内）
TEL 0120-366-761
www.isr-group.co.jp

社会保険労務士
ＩＳＲ 梨 本

合同会社
ISRパーソネル

株式会社
アイ・エス・アール

働き方改革策定	副業推進支援	データセンター ISR
労働条件・ハラスメント	人材紹介・リーダー育成	レセプト管理・情報デザイン
労働保険事務組合 経営者会議	ISR e-Sports	ISRサテライトオフィス
概算確定・労災特別加入	シニア躍動・企業健康経営	リモートワーク・ウェブ会議

信頼・向上 そして社会貢献

男女共同参画社会づくり協定グループ（兵庫県）

病院年報・周年記念誌

承ります！

会報、大学要項など
70 年以上の実績があります。

今ご覧いただいている会報誌も弊社で作成いたしました。

患者様向け小冊子

も承っています！

例えば、診察・入院・手術などの手引書を、
幅広い年代や、日本語が不慣れな方向けに

- 翻訳
- イラスト作成
- ストーリー仕立てのまんが化

動画にもできます

すべてまるっと、お任せください！

印刷以外も

ご依頼ください！

ホームページ　動画　デジタルサイネージ　看板　資料のデジタル化（冊子・図面など）

情報をデザインする会社
株式会社 七旺社
URL：https://www.shichiou.co.jp

TEL：078-575-5212
FAX：078-577-8366
e-mail：info@shichiou.co.jp
〒653-0012 神戸市長田区二番町4丁目 27 番地

担当：水原まで

医療・福祉のスマート経営に、アプリケーションは自由自在。

多様な業務をコーディネートし、お客様に合ったサービスをお届けします。
業務内容の組み合わせも、お気軽にご相談ください。

医業・福祉事業経営のトータルアウトソーシング・ソリューション

ワタキューグループの[包括委託サービス]

(セイモアシステム)

包括的に一元的に医業経営・福祉事業経営をサポートする[セイモアシステム]は、ワタキューグループ各社の協力体制で実現しています。

- ワタキューセイモア(株)／リネンサプライ・販売・総合サポート
- 日清医療食品(株)／給食受託事業・在宅配食サービス事業
- 綿久リネン(株)／ホテル・レストラン向けリネンサプライ
- (株)フロンティア／調剤薬局事業・福祉用具レンタル・販売事業
- (株)メディカル・プラネット／人材紹介・派遣・研修事業
- 古久根建設(株)／総合建設業

健康と快適の明日を考える
ワタキューセイモア株式会社

www.watakyu.co.jp
近畿支店／〒610-0396 京都府綴喜郡井手町多賀茶臼塚12-2 TEL 0774-82-5101
神戸営業所／〒651-1301 兵庫県神戸市北区藤原台北町7-4-1藤田建設ビル2F TEL 078-982-2940

業務案内

兵庫県病院協同組合（設立昭和 37 年）

斡旋及び取扱い	基準寝具及び白衣・患者衣の賃貸	○ ワタキューセイモア㈱
	牛乳	○ ㈱共進舎牧農園
	ねずみ・衛生害虫防除	○ アペックス㈱
	自動販売機による飲料	○ ㈱チェリオ Co.、ダイナミックベンディングネットワーク㈱ 関西コーヒー㈱、㈱アペックス西日本、 関西キリンビバレッジサービス㈱
	保険代理店	○ 損害保険ジャパン代理店 （組合募集代理店…㈱インシュアランスサービス・㈱ A・I・P） 兵庫県民間病院協会の会員病院、従業員を対象とした自動車保険・火災保険等の取扱い ○ アフラック生命保険株式会社 （組合募集代理店…㈱エイフ） 組合員病院、従業員を対象とした集団扱い商品（がん保険）の取扱い
	自動車リース	○ ㈱イチネン
	家庭常備薬、サプリメント （対象：組合員病院の全職員）	○㈱諒和（旧 大日商事㈱） 組合員病院の職員の福利厚生及びその家族の疾病予防、健康増進の一助として、年２回斡旋実施
	紳士服、レディース用品 （対象：組合員病院の全職員）	○㈱青山商事と提携 「洋服の青山」で買い物時、「AOYAMA タイアップカード」（入会無料）の提示により、通年、10％の割引（割引セールの場合は割引後の価格から）が受けられる。（福利厚生の一助として）
	引越 （対象：組合員病院及び組合員病院の全職員）	○㈱サカイ引越センターと提携 「特別割引専用ダイヤル」（TEL 0120-56-1141）で申込むと、特別優待割引（引越基本料金の 20％以上割引。但し３月 15 日～４月 15 日は除く）が受けられる。（福利厚生の一助として）

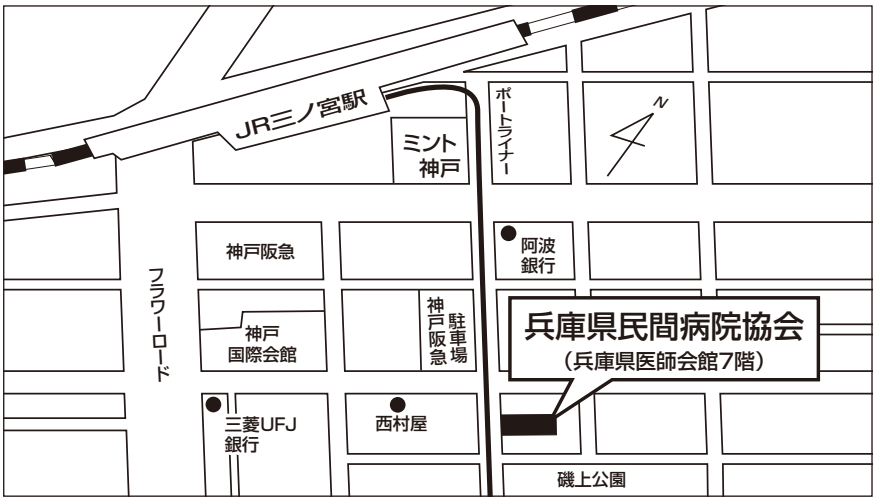
※上記以外にも、オゾン方式グリーストラップ改善装置、転倒リスク軽減離床センサー、多言語映像通訳等の病院関連商品をはじめ、病院運営に役立つ物品・機器の紹介や斡旋をおこなっています。

※また、院内業務改善やコスト削減、患者様へのサービス向上、職員の満足度向上等をお考えの組合員病院様に、実現へのお手伝いができるよう、組合から適切な事業者・事業をご紹介し、ご提案などをさせていただきます。お気軽にお問合せ下さい。

加入病院　１２０病院
主な取引銀行　商工中金、みなと、日新信金他
理事長　西　昂（医療法人康雄会　西病院理事長）
専務理事　鄭　正秀（医療法人社団博愛恵秀会　神戸博愛病院理事長）
常務理事　森村安史（医療法人樹光会　大村病院理事長）
事務局長　谷水直人

・協同組合には 10 万円の出資金のみ拠出いただければご加入できます。ご加入後は年会費など頂戴することはありません。
・取扱い業務並びに組合加入その他詳細は協同組合事務局へお問い合わせください。

協同組合事務局・ＴＥＬ（078）230 ― 2525
ＦＡＸ（078）230 ― 2526



（一社）兵庫県民間病院協会会報

令和６年８月25日発行・通巻642号

発行人　一般社団法人 兵庫県民間病院協会会長　西　昂
〒651-0086　神戸市中央区磯上通６丁目１番11号　兵庫県医師会館７Ｆ
ＴＥＬ（078）230－1181　Ｅメール　info@hgminkanhp.or.jp
ＵＲＬ https://www.hgminkanhp.com
編集者　東　靖人、榊　政重、榎本暁士、原　正也、山田泰嗣、吉田明史

印　刷　(株)七 旺 社　神戸市長田区二番町4丁目27番地・ＴＥＬ (078)575－5212(代)